

完全予約制

大腸3D-CT

バーチャル内視鏡

18,900円（税込み）

お問い合わせ

028-683-5771

この検査は、内視鏡を使用せずに大腸を観察する新しい大腸検査法です。

空気で大腸を膨らませた状態でマルチスライスCT装置にて大腸を撮影し、コンピューター処理によって大腸の三次元画像を作成してポリープや腫瘍性病変の有無を調べます。

バリウムを使用した大腸X線（注腸）検査や従来の内視鏡に比べ苦痛が少なく、短時間で検査が終了いたしますので、「大腸検査は大変そうでやりたくない。」とお考えの方や、「便潜血検査で陽性だったが、詳しく調べていない。」といった方にお勧めいたします。

長所

- 短時間** ・ 検査が約15分～20分程度で終了するので、非常に短時間である。
- 簡単（容易）** ・ 痛みなどの苦痛が他の大腸検査に比べ少ない。
- 苦痛・危険が少ない** ・ 大腸穿孔などの危険が極めて少ない。
- ・ 実物の内視鏡が挿入困難であった方も検査が容易である。

短所

- ・ 細胞を採取して検査（生検）することや、ポリープの切除ができない。
- ・ 5mm以下の小さなポリープ、平坦な病変や炎症性病変を発見する能力は、実際の内視鏡に比べ劣っている。
- ・ 低線量撮影ではあるが、CTによるX線被ばくがある。
- ・ 他の検査と同様に、大腸をきれいにする処置（下剤服用）がうまく出来ていないと、正確な検査が困難である。

検査スケジュール



下剤 2ℓ



CT撮影

【ご予約・事前問診・検査説明】

必ずご予約が必要です。検査一週間前までに一度ご来院いただき、問診にお答えいただいたうえで、前処置・検査についてご説明させていただきます。

【前処置】

前日から当日、大腸をきれいにするために、下剤を服用していただきます。前日の夕食後から検査当日は禁食となりますが、お水は飲んで大丈夫です。

【検査】

腸の動きを止める薬を腕に注射し、お尻から細い管で空気を入れます。大腸を膨らませた状態で、仰向けとうつ伏せの2回お腹のCT撮影をいたします。検査終了後30分ほどお休みいただいた後、ご帰宅いただけます。

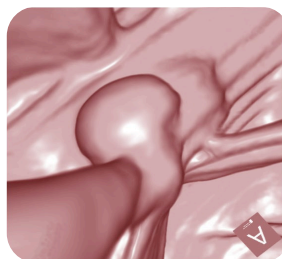
【画像処理】

撮影されたCT画像を元に、三次元画像を作成し、詳しく調べます。

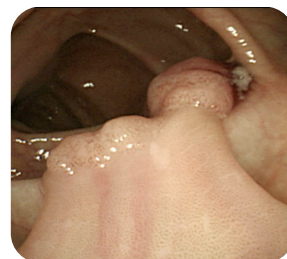
【結果報告】

一週間ほどで検査結果が出ます。結果については紙面にてご報告いたします。

ドック・健診のオプションとして受けられた場合、全ての結果がそろった時点でお届けいたします。



3D-CT画像



内視鏡画像